

## 特別企画：2021年度 北海道内スーパーストア売上高ランキング

## イオン北海道が2年連続首位へ

～価格競争続くなか、上位50社の売上高合計は前年度比0.8%減～

## はじめに

円安や原材料価格高騰の影響などから値上げが相次ぐ流通小売業界。新型コロナウイルスの影響で巣ごもり需要が追い風ともなった側面もあるが、顧客獲得競争は一段と熾烈を極めている。道内のスーパーストア業界に目を転じると2020年3月にイオン北海道(株)がマックスバリュ北海道(株)を吸収合併するなど、従前より大手グループによる系列化や寡占化が進む一方、中小規模のスーパーストアを取り巻く環境は厳しさが増している。

帝国データバンク札幌支店は、企業概要ファイル「COSMOS2」(登録社数147万社)を対象に、2021年度(2021年4月期～2022年3月期)に決算を迎えた道内企業(約7万社)から、スーパーストア経営者を抽出、売上高ランキング(不動産賃貸収入等を含む)を作成した。なお、売上高は推定値を含む。

## ～調査対象～

1. 原則として生鮮3品を扱い、セルフサービス方式を採用する法人
2. 北海道内に本社を置きスーパーストアを展開する法人
3. 北海道内に本社を置き店舗展開する生活協同組合(大学生協を除く)
4. 売上高は不動産賃貸収入等を含み、店舗数は上記の対象店舗とする

## 調査結果(要旨)

1. 2021年度のランキング第1位は、イオン北海道(株)。売上高は前期比0.7%増の3407億9600万円を計上し2年連続しての首位となった。第2位は(生協)コープさっぽろ。第3位は(株)ラルズ、第4位は(株)ホクレン商事、第5位は(株)東光ストア。
2. 大手3強のグループ別売上高は、第1位が店舗数166、売上高3407億9600万円のイオン北海道(株)。第2位は(生協)コープさっぽろ及び業務提携する(有)魚長及び(株)中央スーパーのグループ。第3位はアークスグループ。
3. 上位50社の売上高合計は1兆2303億9400万円で前年度比0.8%減。上位10社の売上高合計は1兆1017億3500万円で同0.4%減。上位50社の増収企業(横ばい含む)は22社、減収企業は28社。

## 1. 売上高ランキング ~ 第1位はイオン北海道、第2位はコープさっぽろ

ランキング第1位は売上高3407億9600万円（前期比0.7%増）を計上した**イオン北海道（株）**で、2年連続しての首位となった。同社は2020年3月1日付でマックスバリュ北海道（株）を吸収合併している。第2位は売上高3215億4100万円（同1.7%増）の**（生協）コープさっぽろ**。第3位はアークスグループの中核、**（株）ラルズ**で売上高1418億4400万円（同0.7%増）。**（株）ホクレン商事**は同16.9%減の売上高547億2000万円第4位となった。またアークスグループの1社である**（株）東光ストア**は同1.8%減の売上高460億3000万円を計上して第5位にランキングされた。

2021年度 北海道内スーパーストア売上高ランキング

(金額単位:百万円)

順位	前年 順位	法人名	所在地	店舗名	店舗数 (決算時)	決算期 (月)	2021年度 売上高	2020年度 売上高	伸び率 (%)
1	1	イオン北海道(株)	札幌市	イオンほか	166	2	340,796	338,456	0.7
2	2	(生協)コープさっぽろ	札幌市	コープさっぽろ	106	3	321,541	316,042	1.7
3	3	(株)ラルズ	札幌市	スーパーアークスほか	74	2	141,844	140,830	0.7
4	4	(株)ホクレン商事	札幌市	ホクレンショップほか	54	3	54,720	65,878	▲16.9
5	5	(株)東光ストア	札幌市	東光ストアほか	28	2	46,030	46,895	▲1.8
6	8	(株)ダイイチ	帯広市	ダイイチ	21	9	44,570	43,170	3.2
7	6	(株)道北アークス	旭川市	スーパーチェーンふじほか	41	2	44,385	44,770	▲0.9
8	7	(株)福原	帯広市	フクハラほか	42	2	42,225	43,373	▲2.6
9	9	北雄ラッキー(株)	札幌市	ラッキーほか	33	2	40,098	40,913	▲2.0
10	10	(株)道南ラルズ	北斗市	ラルズマートほか	18	2	25,526	25,742	▲0.8
11	11	(株)道東アークス	北見市	ラルズマートほか	14	2	20,156	20,642	▲2.4
12	-	JR北海道フレッシュキヨスク(株)	札幌市	JR生鮮市場	9	3	15,107	9,844	53.5
13	13	(株)豊月	苫小牧市	フードD	12	1	14,741	15,794	▲6.7
14	14	(株)津司	札幌市	卸売スーパー	7	4	12,400	12,000	3.3
15	15	(有)魚長	函館市	生鮮夢市場ほか	19	2	9,834	10,450	▲5.9
16	16	(株)ダイゼン	鷹栖町	DZマート	22	9	7,043	6,347	11.0
17	17	(株)モリワキ	札幌市	北海市場	5	12	6,033	6,080	▲0.8
18	18	(株)東武	中標津町	東武サウスヒルズほか	2	1	5,180	5,200	▲0.4
19	19	(株)一ウ商事	札幌市	マンボウ西野店	1	2	3,750	3,750	0.0
20	20	(株)ハピオ	音更町	ハピオ	1	3	3,730	3,592	3.8

※1 イオン北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継

※2 マックスバリュ北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の食品スーパー7店舗を承継  
また同年10月1日付で(株)いちまるよりスーパーストア14店舗を承継

※3 (株)道東ラルズは2016年3月に(株)篠原商店を合併、(株)道東ラルズは(株)道東アークスに商号を変更

※4 (株)ダイイチは2016年10月1日付で(株)オーケー(音更町)を吸収合併

※5 イオン北海道(株)は2020年3月1日付でマックスバリュ北海道(株)を吸収合併

※6 JR北海道フレッシュキヨスク(株)は2021年10月1日付で(株)北海道ジェイ・アール・フレッシュネス・リテールを吸収合併

## 2. 大手3強の売上高～イオン北海道が3407億9600万円で2年連続してトップに

大手3強の売上高を見ると、イオン北海道(株)が前期比0.7%増の3407億9600万円を計上して2年連続してのトップとなった。第2位は(生協)コープさっぽろ及び業務提携先の(有)魚長(函館市)、(株)中央スーパー(留萌市)のグループ。2019年9月に(生協)コープさっぽろと(株)中央スーパーは業務提携契約書を締結し、同グループの店舗数は129、2021年度における売上高合計は前期比1.4%増の3332億4100万円となった。

アークスグループ(道内本社6社)は店舗数217、売上高合計は前期比0.6%減の3201億6600万円で第3位となった。

### 2021年度(2021年4月期～2022年3月期)大手3強の売上高

#### ●イオングループ売上高

(単位:百万円)

企業名	店舗数	2020年度	2021年度	伸び率 (%)
イオン北海道(株)	166	338,456	340,796	0.7
合計	166	338,456	340,796	0.7

■イオン北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継

■マックスバリュ北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの食品スーパー7店舗を承継。

また同年10月より(株)いちまるのスーパーストア14店舗を承継

■2020年3月1日付でイオン北海道(株)はマックスバリュ北海道(株)を吸収合併

#### ●(生協)コープさっぽろ及び業務提携先売上高

(単位:百万円)

企業名	店舗数	2020年度	2021年度	伸び率 (%)
(生協)コープさっぽろ	106	316,042	321,541	1.7
(有)魚長	19	10,450	9,834	▲ 5.9
(株)中央スーパー※1	4	2,014	1,866	▲ 7.3
合計	129	328,506	333,241	1.4

※1:(株)中央スーパーは2019年9月に(生協)コープさっぽろと業務提携契約書を締結

#### ●アークスグループ売上高

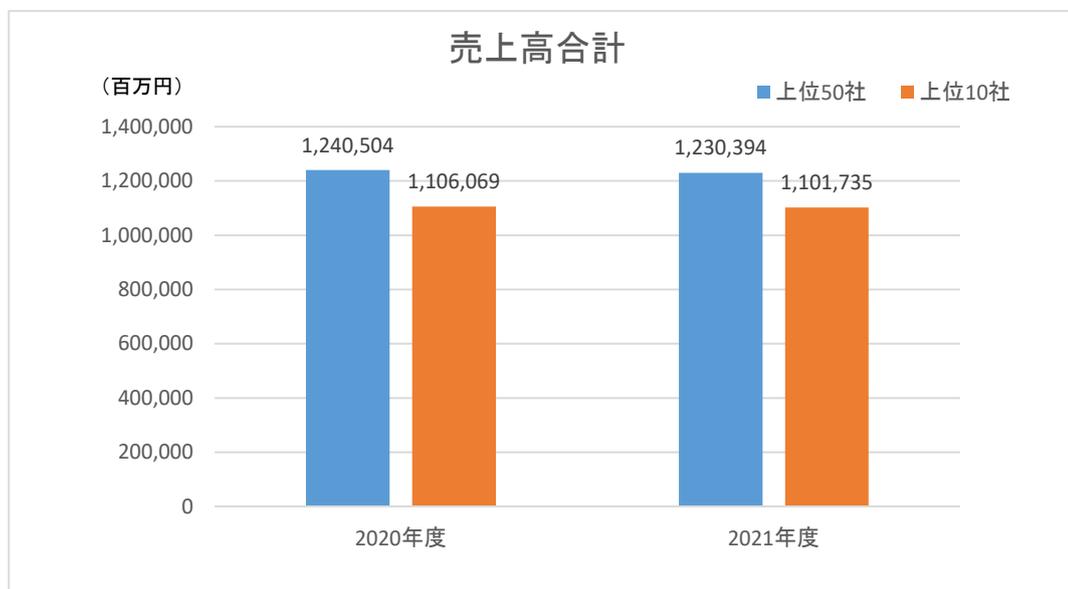
(単位:百万円)

企業名	店舗数	2020年度	2021年度	伸び率 (%)
(株)ラルズ	74	140,830	141,844	0.7
(株)東光ストア	28	46,895	46,030	▲ 1.8
(株)道北アークス	41	44,770	44,385	▲ 0.9
(株)福原	42	43,373	42,225	▲ 2.6
(株)道南ラルズ	18	25,742	25,526	▲ 0.8
(株)道東アークス※1	14	20,642	20,156	▲ 2.4
合計	217	322,252	320,166	▲ 0.6

※1:(株)道東ラルズは2016年3月に(株)篠原商店を合併、(株)道東ラルズは(株)道東アークスに商号を変更

### 3. 上位50社売上高合計 ~1兆2303億9400万円で前年度比0.8%減

売上高ランキング  
上位50社の売上高合計は、1兆2303億9400万円となり、前年度（1兆2405億400万円）から0.8%減で推移した。上位10社の売上高合計は、50社合計の89.5%を占める1兆1017億3500万円で、前年度（1兆1060億6900万円）から0.4%減で推移。



上位50社に占める上位10社の売上高合計の構成比は前期(89.2%)から0.3ポイント増加しており、一層の寡占化がうかがわれる。売上高が前年度比増収（横ばい含む）の企業は上位50社中22社、減収企業は28社となり、減収企業の数が増えた。

### 4. トップ10企業の動向

スーパーストア売上高ランキング推移(2012年度～2021年度)

順位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	(生協)コープさっぽろ	イオン北海道(株)	イオン北海道(株)							
2	イオン北海道(株)	(生協)コープさっぽろ	(生協)コープさっぽろ							
3	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ラルズ	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	(株)ラルズ	(株)ラルズ
4	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	マックスバリュ北海道(株)	(株)ラルズ	(株)ラルズ	(株)ホクレン商事	(株)ホクレン商事
5	(株)ホクレン商事	(株)東光ストア	(株)東光ストア							
6	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)道北アークス	(株)ダイイチ
7	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)東光ストア	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)道北アークス	(株)福原	(株)道北アークス
8	(株)福原	(株)福原	(株)福原	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	(株)福原	(株)福原	(株)福原	(株)ダイイチ	(株)福原
9	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	(株)福原	(株)福原	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)	北雄ラッキー(株)
10	(株)ダイイチ	(株)道南ラルズ	(株)道南ラルズ							

[注1] 株式会社は2012年7月に(株)道北ラルズと合併し、(株)道北アークスへ商号変更

[注2] イオン北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の総合スーパー9店舗を承継

[注3] マックスバリュ北海道(株)は2015年9月より(株)ダイエーの北海道地区の食品スーパー7店舗を承継。

また同年10月1日付で(株)いちまるよりスーパーストア14店舗を承継

[注4] (株)ダイイチは2016年10月1日付で(株)オーケー(音更町)を吸収合併

[注5] イオン北海道(株)は2020年3月1日付でマックスバリュ北海道(株)を吸収合併

**イオン北海道(株)**は、2021年8月にイオン石狩PCを稼働し、物流体制の構築を強固にした。GMS4店舗、SM5店舗、DS2店舗の計11店舗で大型活性化を行ったほか、セルフレジを新規・追加合わせて45店舗に導入した。オリジナル商品の開発に注力し、食品部門ではプライベートブランド「トップバリュ」において価格凍結宣言を打ち出し、顧客への訴求を図った。インターネットショップでは「アウトドア」「除雪機」など新規企画サイトを開設。売上高は前期比0.7%増の3407億9600万円を計上した。

**(生協) コープさっぽろ**は、期中に「しろいし中央店」(札幌市)、「やまはな店」(札幌市)を新規出店した。「無印良品」との提携による同社製品の供給開始や新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いて推移したことで来店客も増加。宅配事業も期初段階の契約者数が前年比3万7000世帯増加するなど業績に寄与、売上高は前期比1.7%増の3215億4100万円を計上した。

**(株) ラルズ**は、前期同様、各店舗の業態変更、改装、リニューアルを計画的に実施することで、集客力の向上、顧客サービスアップに努めた。主力である青果、精肉、鮮魚の生鮮3品は巣ごもり消費による内食需要が引き続き堅調で、売上高は前期比0.7%増の1418億4400万円を計上した。

**(株) ホクレン商事**は、引き続き各家庭での巣ごもり需要が続くなか、「ホクレンブランド」を強みに地元顧客を中心とした根強いファンを獲得。近時は各地の農協と連携しながら店舗のスクラップアンドビルドを進めている。なお、会計基準を「収益認識に関する会計基準」への変更を行ったことで、売上高は547億2000万円の計上となった。

**(株) 東光ストア**は、アークスグループの1社としてイベントを企画し、集客増に取り組んだ。従来と同様に高価格～低価格商品まで幅広い商品構成を維持し、プライベートブランドの商品も堅調に推移した。売上高は前期比1.8%減の460億3000万円を計上した。

**【内容に関する問い合わせ先】**

株式会社帝国データバンク 札幌支店 担当:柳澤、松田、吉原

TEL 011-272-3933 FAX 011-272-3934

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。